

## 東海ゴム従業員が養殖ホタテ即売会に参加 ～北海道・八雲町産の「本場の味」をアピール～

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、小牧市の「小牧駅前にぎわい広場」で2月16日（日）に開催された北海道・八雲町産養殖ホタテの即売会に当社従業員有志が参加しましたので、お知らせいたします。



店頭で市民にホタテ袋詰めを渡す当社従業員（左端）



八雲町産の養殖ホタテ

北海道の南西部に位置する八雲町は、旧尾張藩主・徳川慶勝が明治時代に開拓を推進した縁で、小牧市と友好都市の関係を結んでいます。八雲町は養殖ホタテの産地として知られており、今回の八雲町産ホタテ即売会は、小牧市の特定非営利活動法人「こまき市民活動ネットワーク」が、両市町の交流深化を目的に毎年この時期に実施しているもので、当社も趣旨に賛同してボランティアで協力しています。

この日は、八雲町の漁業関係者の協力を得て、同広場の特設会場でホタテを9枚入りの袋詰めにして販売しました。販売開始とともに、本場の海の幸を味わおうと待ちわびた市民約500名が続々と詰めかけ、用意した約2,400個分の袋詰めはわずか30分で完売しました。

当社従業員もネットワークのメンバーとともに、ホタテの袋詰め作業や店頭での対応に取り組み、市民からは「北海道の食材を味わえる機会を楽しみにしていた」「こうした交流事業を今後も続けてほしい」などの声をいただきました。

当社は、こうした地域活動に積極的に参画することにより、社会に貢献する企業として皆様に将来にわたって愛される存在であり続けたいと考えております。今後もこうした取り組みを継続的に推進してまいります。

以上